



*2019 年 3 月 (第 2 版)

2018 年 8 月 (第 1 版 新記載要領に基づく作成)

承認番号: 23000BZX00235000

医療用品 04 整形用品

高度管理医療機器 人工膝関節脛骨コンポーネント 35669000

Persona トラベキュラーメタル脛骨コンポーネント

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 禁忌 (次の患者には適用しないこと)

- ・罹患関節に感染症の既往歴がある患者
- ・感染症症状が認められる患者
- ・骨量が不十分な患者
- ・骨格が未成熟な患者
- ・神経障害性関節症の患者
- ・骨粗鬆症又は患部の症状を悪化させるおそれがある神経筋疾患の患者
- ・関節固定術を受け、通常の機能肢位において痛みのない状態の患者
- ・側副靱帯の欠損により、重度の不安定性が認められる患者
- ・皮膚潰瘍を伴う、又は再発性の皮膚破壊の既往を有する関節リウマチ (RA) 患者 [術後感染のリスクが高い]
- ・ステロイドを使用している RA 患者 [遅発性の感染症が発現する危険性がある]

2. 禁止

- ・弊社が指定した製品以外との併用はしないこと [相互作用の項参照]
- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止 [再滅菌処理により破損・品質低下を生じるおそれがある]

【形状・構造及び原理等】

本添付文書に該当する製品の製品名、製品番号、サイズ等については包装表示又は本体の記載を確認すること。

製品名	製品外観
Persona TM ティピア	

原材料: チタン合金、トラベキュラーメタル

【使用目的又は効果】

本品は、関節リウマチ、変形性関節症、外傷等により人工膝関節置換術を必要とする患者に対し膝関節機能再建のために関節面サーフェイスと組み合わせる脛骨トレイである。本品は滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。

【使用方法等】

- ・本品は滅菌品である。
- ・一回限りの使用で再使用しないこと。
- ・本品の固定方法は原則として直接固定 (セメントレス固定) であるが、患者の骨の状態が悪い場合は、医師の判断により間接固定 (セメント固定) も可能である。

基本的な使用方法

1. 大腿骨・脛骨の準備※ 術前計画に基づき、大腿骨遠位端及び脛骨を切除する。 大腿骨コンポーネント及び脛骨トレイのサイズを決定する。	
---	--

2. 脛骨側ペグホルルの作製 脛骨トレイのペグホルルを作製する。	
3. 膝蓋骨の準備 膝蓋骨の置換が必要な場合は、膝蓋骨の厚さを計測し骨切りを行う。	
4. トライアルの設置 適切なサイズのトライアルを設置し、仮整復を行う。	
5. 脛骨トレイの設置 脛骨トレイを脛骨に設置し、インサーターを用いて固定する。	
6. 大腿骨コンポーネントの設置 大腿骨コンポーネントをインサーターに設置し、インパクトを用いて固定する。	
7. 関節面サーフェイスの設置 脛骨トレイに適切な厚みの関節面サーフェイスを設置し、インサーターを用いて固定する。	
8. 膝蓋骨コンポーネントの設置 必要に応じて、膝蓋骨コンポーネントを挿入し、パテラクランプを用いて設置する。	

※以下のカットガイドと併用することもできる。

販売名	承認番号
ペイシェントスペシフィックインスツルメント	22600BZX00140000
ジンマー 膝関節用 PSI	22700BZX00039000
Signature ソリューション	23000BZX00108000

使用方法に関連する使用上の注意

- ・骨セメントを使用する際は、その添付文書を熟読し使用上の注意を遵守すること。
- ・使用されたコンポーネントを再挿入しないこと。
- ・骨質が不十分で良好な初期固定が得られない場合は、骨セメントを使用すること。
- ・セメントレス固定の場合、術後 12 週間は患者の活動を制限し、膝関節に負担を与える極端な肢位を避けること。
- ・本品の表面に切り傷、曲げ、切込みまたは引っかかり傷をつけないようにすること [本品の強度、疲労耐性及び耐摩耗性が低減]

手術手技書を必ずご参照ください

する可能性がある]。

- 本品のサイズ選択は、各製品ラベルに表示されているサイズ、タイプ及び左右、添付文書及び手術手技書に記載されている製品適合表を照合することによって行うこと。互換性のない組み合わせでは、接触面の適合が得られず、疼痛、耐摩耗性の低下、コンポーネントの不安定、コンポーネント耐用年数の低下を来す可能性がある。
- 適切な軟部組織のバランスを維持しコンポーネントの設置位置を確認するように注意すること。
- 閉創の前にはいかなる異物も排除すること〔過度の摩耗を引き起こすおそれがある〕。
- 脂肪塞栓のリスクは髄内用手術器械の使用及びセメント加圧により高まる。大腿骨及び脛骨の髄腔内容物の排出に配慮すること。
- 両膝同時手術時に下肢止血体を緩める場合は、片膝ごとに 10 分ずらして緩めること[肺障害の発生を低減するため]。
- 本品使用の際には、専用の器械及びトライアルを使用すること。正確に骨を切除し、軟部組織のバランスを取り、術中は膝の機能を評価することが重要であるので注意すること。
- コンポーネントのアライメント又は設置位置が不適切な場合は、コンポーネントの機能不全の危険性が高くなるので注意すること。
- チタン合金又はコバルトクロム合金をステンレス鋼と併用しないこと〔ガルバニック腐食（異種金属が電解液中にて、電位差を生じることにより起きる腐食）が発現する可能性がある〕。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 微生物汚染制御を実施することで、深在性部敗血症の可能性を最小限にとどめることができる。機器が留置されている期間は、新規又は再発性の感染源に対する監視を行うこと。
- 次の患者は合併症やインプラントの破損が起りやすいので注意すること〔重篤な不具合、有害事象が発現するおそれがある〕。
 - －人工関節に性能以上の機能を求める患者
 - －術後管理ができない患者
 - －体重が重い患者
 - －骨形成、骨量及び骨質が不十分な患者
 - －運動量が多い患者
- 人工関節は永久的な機能を有するものではない。経時的に人工関節の摩耗や緩み（ルースニング）、あるいは破損が生じる場合がある。程度により人工関節の再置換が必要となる場合があるので注意すること。人工関節置換術を受けた患者に対しては、定期的に医師による経過観察を受けるよう指導すること。また、一時的であっても人工関節が過大な応力を受けることで摩耗が進み、あるいは破損が生じることがあるので注意すること。
- * 本品は、MR（磁気共鳴）環境における安全性・適合性の評価は実施されていない。MRI（磁気共鳴画像診断装置）検査において、温度上昇、マイグレーションやアーチファクトが発生する場合がある。

2. 相互作用（他の医療機器等との併用に関すること）

併用禁忌（併用しないこと）

- 弊社が指定した製品以外との併用はしないこと〔専用品でないと設計・開発方針が異なるため、適合しないおそれがある〕。
- 本品と組み合わせて使用できる（互換性が確認されている）関節面サーフェイス

販売名	承認番号
Persona PS セメントシステム	22500BZX00384000
Persona CR セメントシステム	22500BZX00385000

Persona Vivacit-E PS サーフェイス&パテラ	22600BZX00188000
Persona Vivacit-E CR サーフェイス	22600BZX00189000
Persona Vivacit-E MC サーフェイス	22800BZX00204000

3. 不具合・有害事象

不具合

- 変形
- 折損
- 摩耗
- マイグレーション
- 摩耗粉によるインプラントの緩み及び骨溶解
- インプラントの緩み（ルースニング）
- インプラントの破損、損傷

有害事象

- 軟部組織のインピンジメント又は損傷
- 脱臼又は亜脱臼、関節の不安定性
- インプラントのアライメント不良、設置位置不良
- 骨折
- 一過性又は永続的な神経障害
- 腫脹
- 感染
- 脚長差の発生
- 関節可動域の不良
- 疼痛
- 創傷治癒の遅延
- 心血管障害（静脈血栓症、肺塞栓症、又は心筋梗塞を含む）
- 炎症
- 金属アレルギー
- 金属製インプラントの腐食
- 血管損傷
- メタローシス
- オステオライシス
- 滲出液
- 血腫
- 骨穿孔
- 内反、外反変形
- 膝蓋腱断裂
- 靱帯弛緩
- 関節周囲の異所性骨化
- ストレスシールドリングによる骨密度の低下
- 再手術

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- 常温、常湿にて保管すること。

有効期間

- 外箱に記載した表示を参照〔自己認証による〕。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ジンマー・バイオメット合同会社

電話番号：03-6402-6600（代）

主たる設計を行う製造業者：Zimmer Inc.、米国

※本添付文書は予告なしに変更することがあります。